

袋井市駐車場事業
中期経営計画

平成20年2月

袋 井 市

1 計画策定の趣旨

(1) 社会的背景

人口減少への転換期を迎え、国・地方ともに厳しい財政状況にある中で、地方公共団体においても行政改革に取り組み、事業の効率化を推進する必要がある。

本駐車場事業においても取り組むべき課題と方針を明確にし、今後5年間の経営計画を策定し、経営の効率化・健全化を図るものとする。

(2) 事業の現状

当事業は、交通結節点であるJR袋井駅及び愛野駅における交通の円滑化を図るとともに、市民の利便に資するため、自動車、自転車、原動機付自転車の駐車場を運営している。

駐車場台数及び収入実績（平成18年度）

ア JR袋井駅前駐車場

自動車	86台	32,193,300円
自転車	1,144台	22,620,700円
原動機付自転車	95台	4,374,000円

イ JR愛野駅前北駐車場

自動車	67台	15,779,730円
自転車	381台	
原動機付自転車	117台	

ウ JR愛野駅前南駐車場

自動車	201台	3,853,460円
自転車	352台	
原動機付自転車	63台	

共通回数券 1,784,000円

(3) 事業の課題

ア 愛野駅南自動車駐車場の利用向上

イ 経営努力による健全な財政運営

ウ 自転車盗難の防止

2 事業運営の基本方針

(1) 計画の位置付け

駐車場事業の運営方法について、基本的な方針を中期的な視野に立って示すものとした。

(2) 計画策定の期間

開始年度	終了年度
平成17年度	平成21年度

(3) 事業運営の目標

ア 財政運営の目標

- ・ 平成19年4月1日から導入した指定管理者制度により、経営の効率化、経費の節減を図る。

イ 定員管理の目標

- ・ 一般行政部門に含む

ウ 給与適正化の目標

- ・ 一般行政部門に含む

エ サービス水準の目標

- ・ 平成19年4月1日から導入した指定管理者制度により、迅速な障害対応や、一部の駐車場における定期制の導入等、民間のノウハウを活用した利用サービス向上を図る。

(4) 経営基盤強化への取組に係る基本方針

ア アウトソーシング等民間的経営手法の導入等についての方針

平成19年4月1日から指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活用した管理運営を開始している。

3 事業計画

(1) 中期財政収支計画

収支見込み

(単位：千円)

	平成17年度 (決算)	平成18年度 (決算)	平成19年度	平成20年度	平成21年度
駐車場使用料	82,360	80,626	79,143	77,483	77,500
繰越金	13,118	14,304	4,552	3,000	3,000
その他	87	806	857	1,517	21,200
収入計	95,565	95,736	84,552	82,000	101,700
運営費	61,588	60,206	59,809	59,703	80,000
積立金	16,000	27,304	17,990	15,615	15,018
償還金	3,674	3,674	3,753	3,682	3,682
予備費	0	0	3,000	3,000	3,000
支出計	81,262	91,184	84,552	82,000	101,700

公営企業金融公庫借入金元金残高（各年度末）

（単位：千円）

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
総 額	27,538	24,940	22,238	19,425	16,500

(2) 定員管理に関する計画

一般行政部門に含む

(3) 給与の適正化に関する計画

一般行政部門に含む

(4) 将来需要予測

（単位：台）

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
袋井駅前駐車場	60,924	59,170	58,000	58,000	58,000
袋井駅前駐輪場（自転車）	398,152	390,427	384,000	384,000	384,000
袋井駅前駐輪場（バイク）	46,482	44,240	45,500	45,000	45,000
愛野駅前北駐車場	27,853	26,503	23,000	26,000	26,000
愛野駅前南駐車場	7,993	7,177	9,000	9,000	9,000

(5) 主要施策の予定

	施策名	実施時期	内容（理由）
1	指定管理者制度の導入	H19.4～H22.3	公募、業者選定
2	バリアフリー対応	H21.4～H22.3	袋井駅前自動車駐車場

(6) 設備投資計画

（単位：千円）

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
出入口改造費	0	4,169	0	0	0
バリアフリー対応	0	0	0	0	20,000

4 経営基盤強化への取組

(1) 経営改革への取組

事務の効率化、経費削減、利用向上を進めるため、指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活用した経営改革を行っている。

(2) 人材育成への取組

一般行政部門に含む

5 経費節減等の取組による効果

(単位：千円)

項目	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
駐車場の定期制導入による増収	0	0	700	700	700
指定管理制度の導入による節減	0	0	7,500	7,500	7,500

6 環境保全等への取組

(1) 環境保全等への取組

地球環境の保全に貢献するよう、次のような対策を実施していく。

ア 廃棄物の適正処理

発生するゴミの分別徹底

イ 紙資源の節約

資料の減量化、両面印刷の奨励、再生紙利用、不用紙の再利用

ウ 電気の節約

節電の励行、冷暖房の温度管理の徹底

エ その他の環境保全

植栽等環境の保全

(2) バリアフリーへの取組

袋井駅前駐車場において、エレベーター等の設置などバリアフリー化に取り組んでいく。

7 計画達成状況の公表

(1) 公表時期

	公表時期
中間報告	平成20年3月
最終報告	平成22年3月

(2) 公表方法

一般行政部門に準じ公表する。

(3) 計画達成状況の評価方法

「袋井市行政改革推進本部」において、本計画の各項目について検証を行う。